リーディングDXスクール事業 【実践事例】

米子市立車尾小学校（鳥取県）

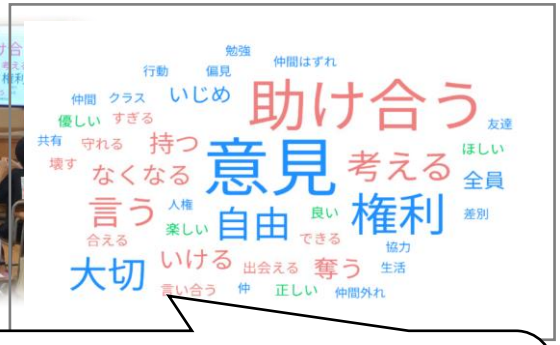
【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用③

～道徳「世界人権宣言から学ぼう」（６年）の実践を通して～

①「自由」と「人権」について考える。

Ａ１（教員による教材の提示）

「人権」の意味や人権宣言の条文、アンケート結果、発問、児童が自分の考えを書き込む際に共有しているスライドなどを大型テレビで提示した。



アンケート作成ソフトを使って、事前アンケートを行い、その集計結果をイメージしやすくするためにテキストマイニングで表示した。こうすることで、子どもたちが学ぶ道徳的価値についてどのように捉えているのか、お互いの考えを可視化することができた。

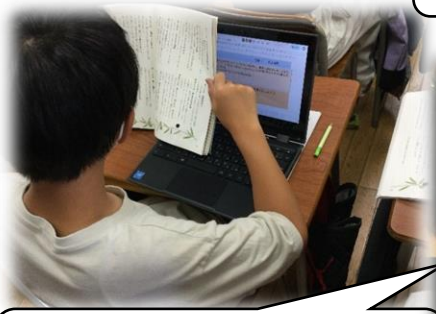
②教材「世界人権宣言から学ぼう」を読んで話し合う。

Ｂ１（一人一人の習熟の程度等に応じた学習）

Googleスライドやノートに、心に残った条文とその理由を書き込む。スライドは共有して他者参照できるようにし、自分に合った方法でまとめた。

自分の考えをノートにまとめる児童

友だちと考えを話し合いながら自分の意見をまとめる児童



スライドで他者参照したり、教科書を見たりしながら、一人で考える児童